

質問順		第533回 令和5年12月定例会 一般質問通告一覧表			富士見町議会
順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
1	7	名取 久仁春	(1) 森のオフィス及びLivingの運営について	<p>① これまでの森のオフィス及びLivingへの投資額の概要は。(建物整備と施設整備に分けて)</p> <p>② 投資額のうち、国の補助金を含めた内訳はどうなっているのか。</p> <p>③ 今日までの森のオフィス、Livingそれぞれの売り上げ総額は。</p> <p>④ この7年間の活動状況について、どのように評価しているか。</p>	町長
2	1	織田 昭雄	(1) 孤独・孤立住民への対応、対策を町はどのように考えているか	① 国では令和3年2月より、孤独・孤立対策担当大臣が議長となり、全省庁の副大臣で構成する「孤独・孤立対策推進会議」を開催し、政府が一体となって、総合的な孤独・孤立対策の検討推進に取り組むようになったが、町民の孤独・孤立対策を町はどのように推進するのか。	町長
				② コロナ感染症の拡大と、その影響の長期化により、孤独・孤立の問題が顕在化、深刻化しているが、町の現状と今後の展開をどのように行っていくのか。	
				③ 近年の自殺者の増加は、孤立・孤独の問題も要因の一つと考えられるが、このような人達の心のケアを行える相談窓口はあるのか。その現状は。	
				④ 単身世帯や単身高齢者の増加に対応する居場所を地域共生センター「ふらっと」でも手掛け出したようだが、これからの推進計画はあるか。	
			(2) 令和6年度予算編成に向けて	① 新年度の予算編成に向けて、町長の最優先課題として挙げるとすれば何か。また、今年度、特に優先している課題は何か。	町長
				② 都市計画の再編が新年度に挙げられているが、見直さなくてはならない理由は。また、その計画はどのような方向に見直すのか。	
				③ 中長期的な行政運営では「単年度事業だけでなく、中長期的な視点での事業計画」とあるが、具体的にはどのような考えか。	
				④ 物価高騰により、役場庁舎をはじめ、全ての公共施設で維持管理費が増加すると見込まれるが、これらに対する対策として、どのように新年度予算に組み込んでいくのか。	

質問順		第533回 令和5年12月定例会 一般質問通告一覧表			富士見町議会					
順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨		答弁者				
3	6	渡辺 葉	(1)	時代に合わせた集落の取り組み検討推進について	①	人口減少などにより各集落での活動を維持することが困難となる地域が増加し、集落の実情にあった取り組みを地域住民と町が一緒になって考えていくことが必要とされている。各集落の課題や可能性について、自分ごととして話し合う場づくりに向けて、協働のまち/コミュニティづくりビジョンの策定や、集落支援員制度を活用する考えは。	町長			
					②	今後地域を担うことが期待されるが、学校・仕事・子育てなどで話し合いへの参加が難しい若い世代に対し、集落での活動に関する意見を問うアンケートなどを実施する考えは。				
					③	移住者と地域の繋がり形成に対する支援や、空き家の掘り起こしに関しても集落支援員の活躍が期待できるが、町の考えは。				
					④	各地域でそれぞれ実情が異なることから、集落支援員は複数の配置が望ましい。集落点検や話し合いからスタートすべき地域やテーマもあれば、具体的に必要とされている取り組みが既に見えているものもある。検討中の集落支援員の数や活動内容は。				
			(2)	各地域の交流拠点・居場所づくりについて	①	境農協閉店によって、居住誘導区域であり転入者も増加傾向にある地域で買い物ができなくなることに、まちづくりの観点における町の考えは。	町長 教育長			
					②	地域住民の交流拠点づくりを目的とした農協跡地活用、子どもが休日に遊べる屋内施設づくりを目的とした廃校跡地(体育館)活用、常駐事務員のいない公民館での子どもの居場所づくりなどに集落支援員制度を活用する考えは。				
			(3)	集落支援員の柔軟な活用方法について	①	他自治体では地域ブランドづくり、地域防災支援、教育移住の推進など幅広い分野での集落支援員の起用が見受けられる。富士見町でも今後、コミュニティスクール、地域交通、買い物サービス支援、営農推進などにおいて集落支援員制度を活用する考えは。	町長 教育長			
			4	9	小倉 裕子	(1)	富士見町テレワーク推進補助金の見直しを	①	平成26年に「富士見町ホームオフィス補助金」が制定され、補助金の交付額は家賃相当額となっていたが、令和2年に類似する内容の「富士見町テレワーク推進補助金」が制定され、家賃相当額及び光熱費等の一部とし月額83,000円の補助となって現在に至っている。また、その応募条件に富士見町のオフィスの会員登録、利用日数の制限が付記されている。どちらの補助金も、目的は定住者の増加だが、条件が付された経緯と理由は。また、その補助金による定住実績は。	町長
								②	テレワークとは働く場所を選ばない働き方であり、コロナ下に於いて特に在宅での仕事が可能になったことで注目されたが、現在は「勤務状況の把握・コミュニケーション不足」等から、通常勤務へと戻っている状況がある。テレワークとは限らず、富士見町が良くて移住してくれる方にも行きわたるよう当該補助金を見直さないか。	
						(2)	就業・創業移住支援事業補助金の利用促進を	①	就業・創業・移住支援事業補助金の利用状況は。企業及び受給者のメリット、デメリットの声はあるか。	町長
								②	移住定住希望者と、町の経済を支える企業とのマッチングに力を入れるべきではないか。	
						(3)	2024年度介護報酬改定による高齢者及び介護サービスへの影響について	①	2024年度の介護報酬改定以降の介護事業は介護保険料の値上げや介護サービスの個人負担分の増加等、高齢者の負担増につながるものと予測されているが町の受け止めは。	町長
②	医療、介護、地域の連携を元に「地域包括ケアシステム」構想が始まり、2025年までの構築を目指しているが、自立・在宅介護等についてホームヘルパー等介護者の不足等、実態とはかけ離れたものになりかねない状況がある。町独自の支援も必要になる可能性があるが考えは。									

質問順		第533回 令和5年12月定例会 一般質問通告一覧表			富士見町議会
順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
5	10	西 明子	(1) 町は高校や高校生をどのような存在ととらえ、どのように活かすと考えているか	① 令和6年度予算編成に向けた町長方針、重点政策1「地域と連携した社会につながる教育の推進」に「富士見高校との連携」とあるが、町として現状と課題、今後の展開などの具体的な考えは。	町長
				② 町には富士見高校生だけでなく町内在住の高校生もいる。高校生はさまざまな可能性を持った存在だと考えるが、町としては高校生の存在をどのように捉えているか。	
				③ 高校生の可能性を今後の町づくりにどのように活かすか。町としての具体的な考えは。	
		西 明子	(2) 町の考える住民との「協働」とは	① 高校や高校生と自治体が連携する際にも「協働」の考えが必要と考える。出払い応援隊などの高校生の参加の例は、区や集落を越えて町づくりに参画している「協働」の事例と捉えるが、町として「協働」をどのように考えているか。	町長
				② 町の「協働」を進めていく上で「協働」の主体をどのように想定しているか。また、「協働」を進めていく上での課題は何か。	
				③ 今後「協働」を進めていく上での指針、条例、要綱の整備、コーディネーターの担い手など具体的な可能性は。	
		西 明子	(3) 町の小学校の魅力の発信について	① 小学校入学のタイミングで移住してくる方もいると聞かすが、児童数の増加につながっているか。	教育長
				② 移住希望者から、地域の特色を活かした各学校の実情を知りたいと言う声も聞く。移住希望者や町内在住の就学前の家庭への富士見町の小学校の情報提供は充分か。改善点があるとすればどのようなところか。	
		6	5	牛山 吉彦	(1) 移住者・転入者受入れ体制について
② 空き家対策の取り組み状況と今後の施策などの方針は。					
③ 区・集落組合への加入促進に関する課題と今後の方針は。					
牛山 吉彦	(2) 町の住宅関係支援制度について			① リフォーム補助金(通常・省エネ)の現状と今後の方針は。	町長
				② 「ゼロカーボン社会」を目指している中、住宅省エネリフォーム補助金があまり活用されていないのはなぜか。	
				③ 空き家改修に関する支援制度の強化・充実は。	
牛山 吉彦	(3) 森林整備・里山整備について			① 里山整備事業・観光森林整備の現状と今後の方針は。	町長
				② 長野県「里山整備利用地域制度」に対する町の取り組みは。	
				③ J-クレジット制度活用の現状と見通しは。	

質問順		第533回 令和5年12月定例会 一般質問通告一覧表			富士見町議会				
順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨		答弁者			
7	2	山口 肇	(1) 中学校橋について	①	中学校橋の撤去・人道橋の新設について、住民の合意は得られたと、考えているか。	町長			
				②	令和2年以降の住民への情報提供は、いつ、どのように行われたのか。				
			(2) 子どもの医療費窓口負担の無料化について	①	物価高騰により、子どもの貧困が進み、子どもへの精神的負担も増加しているといわれる。富士見町の現状はどうか。	町長 教育長			
				②	子どものむし歯および歯肉炎の罹患率と受診状況は。最近の増減の状況は。				
				③	子ども医療費の自己負担300円を無料化することを考えているか。				
			(3) 物価高騰に対する支援策について	①	灯油高騰に対する補助事業の今年度の予定は。	町長 教育長			
				②	今年度は、国の支援事業を受けて給食費を据え置いたが、来年度の給食費については、どう考えているか。				
			8	4	三井 新成	(1) 令和6年度予算編成に向けての町長方針について	①	町長方針の重点政策を第6次総合計画の政策とした理由は何か。	町長
							②	昨年と比較して大きく違うところは。	
③	横断する方針として富士見町の人間力と地域力によるまちづくりとあるが、その意味するものは。								
④	予算編成にあたり、コロナの影響や経済情勢の変化により痛みを受けた産業支援とあるが具体策と規模は。								
⑤	八ヶ岳の資源の活用とあるが、考えられる資源と利用方法は。								
(2) 産業振興の強化について	①	第6次総合計画(政策2産業振興の強化)の中で、アクセスの良さを活かし、あらゆる分野の産業の集積を促しますとあるが、どのような産業を、どう受け入れるか。				町長			
	②	成果指標として、2026年には全ての指標に対し1割増を見込んでいるが、その根拠となる要因は何か。							
	③	工業関係者に期待することとして、地域資源を活用した新たな事業の実施とあるが、その支援策はあるか。							
	④	商業の指標における富士見駅前商店街の環境整備計画は、2026年には策定とあるが実現性はあるか。							
	⑤	農業の振興では、付加価値の高い農業となるよう、産地化、ブランド化を支援するとしているが、成功させるための今後の対応をどのように進めるか。							
	⑥	森林活用として、林業整備と観光を結び付ける事業展開はできないか。							
	⑦	町有スキー場の修繕計画を早急に進め、順次改修していく必要があると考えるが、町長の考えは。							
(3) 富士見町商業環境調査による課題と今後について	①	令和3年度に行われた富士見町商業環境調査により様々な状況が報告された。行政としての受け止めは。				町長			
	②	ハード面とソフト面からの提言がされており、検討や、連携・支援等が必要としているが、町長の考えは。							
	③	商業環境調査の結果を踏まえ、商工会と研究機関と行政の3者による協議会を発足していく考えは。							
12月 4日(月) 5名 1番 ~ 5番 5日(火) 3名 6番 ~ 8番									